

達第二十四號

艦船職員服務規程中左ノ通改正ス

昭和十九年二月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一條第二項中「海防艦長、」ノ下ニ「輸送艦長、」ヲ、「驅潛艇長、」ノ下ニ「敷設艇長、」ヲ加フ

(諸例則卷一、四八二頁参照)

達第二十五號

航空加俸支給規則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二表第一表月額乙ヲ給スベキ者ノ項第八號中「同參謀長」ノ下ニ「同機關長」ヲ加フ

達

七五

0104



達

七六

達第二十五號ノ二

左ノ各號ニ對スル海軍規格ヲ別紙ノ通定ム

別紙ハ海軍艦政本部長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十九年二月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

- 一 ねぢ頭部寸法
- 二 ねぢ込ノ寸法
- 三 楔 栓
- 四 挽物用黄銅棒
- 五 銅 棒
- 六 内火艇發動機、自動車用點火栓試験
- 七 造機關係機關用ジグ嵌輪及ジグ嵌合部公差

0105

達第二十五號ノ三

海軍懲罰令第二條ノ規定ニ依リ海軍文官、同待遇者、雇員、傭人及工員ニ非ザル海軍軍屬ヲ軍人ニ準ズル件左ノ通定ム

昭和十九年二月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一條 海軍部内ニ於ケル待遇ヲ付與セラレタル者在リテハ勅任官待遇者ハ之ヲ將官ニ、奏任官待遇者ハ之ヲ佐官及尉官ニ、判任官待遇者ハ之ヲ准士官ニ、其ノ他ノ者ハ之ヲ兵ニ準ズ

第二條 海軍ノ勤務ニ服スル部外ノ文官、同待遇者ニシテ海軍部内ノ待遇ヲ付與セラレザルモノハ各其ノ本官本職ノ待遇ヲ以テ海軍部内ニ於ケル待遇トシ前條ノ例ニ依リ之ヲ軍人ニ準ズ

第三條 海軍部内ニ於ケル待遇ヲ付與セラレザル者在リテハ戰時部外船舶ニシテ海軍ノ指示ヲ承ケ行動スルモノノ乗組員ハ海軍徴備船舶船員ニ準ジ海軍徴備船舶船員待遇付與標準ニ依リ待遇ヲ付與セラレタルモノト看做シ（此ノ場合上下二階級ニ亘リテ待遇ヲ付與シ得ルトキハ上階級ノ待遇ヲ付與セラレタルモノト看做ス）第一條ノ例ニ依リ之ヲ軍人ニ準ジ其ノ他ノ者ハ之ヲ兵ニ準ズ

達

七六ノ二

0106

達第二十六號

海軍服裝令施行細則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第九條ニ左ノ一項ヲ加フ

作業服着用ノ場合ニ於テ軍帽ヲ用フルトキハ之ニ日覆ヲ附スルモノトス

第九條ノ二第二項中「前項」ヲ「第一項」ニ改メ同條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

生徒艦船部隊學校内ニ在リテ就業ノ際ハ作業服ヲ着用スベシ

(諸則則卷四、八六頁参照)

達第二十七號

戦時海軍工員規則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

達

七七

0107

第七十二條中「及第九」ヲ、「第九及第一〇」ニ改ム

附表第四號中

第九

艦船ニ乗組ミ航海中ノ作業

一時間ニ付

〇、〇二一〇、〇五

ヲ

第九	艦船ニ乗組ミ航海中ノ作業	一時間ニ付	〇、〇二一〇、〇五
第一〇	官用自動車ニ依ル廠外作業	一日ニ付	一、〇〇以内

ニ改ム

參照 昭和十八年九月二十七日達第二三三號

0108

達第二十八號

大正十二年達第五十三號軍需支庫設置場所及其ノ所屬ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年二月三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍軍需部ノ項中「女川」ノ下ニ「父島」ヲ加フ

(諸例別卷一、三三〇ノ一頁参照)

(達第二十九號ハ缺號  
八一頁―八四頁ハ缺頁)

達

七九

0109

達第三十號（三九號付録）

昭和十七年達第二百九十六號表中横須賀海軍經理部霞ヶ浦支部ノ項各部ノ欄「土浦海軍航空隊」ノ下ニ「郡山海軍航空隊、香取海軍航空隊」ヲ加ヘ昭和十九年二月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年二月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 諸例則卷一、二二三ノ一頁及海軍會計法規類集一卷六〇頁ノ二

達第三十一號

昭和十八年度ニ於テ建造ニ着手ノ輸送艦一隻ニ左ノ通命名ス

昭和十九年二月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

三菱重工業株式會社横濱船渠ニ於テ建造

第二號輸送艦

達

八五

0110

達第三十二號

海軍省所管特殊財産取扱規程左ノ通定ム

昭和十九年二月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍省所管特殊財産取扱規程

第一條 海軍ニ於テ管理スル特殊財産ノ取扱ハ特殊財産資金特別會計法、特殊財産取扱令及特殊財産取扱規則ニ依ルノ外本規程ノ定ムル所ニ依ルベシ

第二條 特殊財産ニ關スル事務ハ當該財産ニシテ軍政施行地域ニ在ルモノノ内直接軍用ニ供セザルモノニ付テハ當該地域ノ軍政ヲ掌ル民政府總監又ハ民政府ニ屬セザル海軍民政部ノ長、軍政施行地域ニ在ルモノノ内直接軍用ニ供スルモノ及軍政施行地域以外ノ地域ニ在ルモノニ付テハ當該地域ニ在ル艦船部隊其ノ他各部ノ會計事務ヲ監督スル特設海軍經理部長之ヲ管理スベシ但シ民政府總監ハ其ノ管理スル事務ノ一部ヲ所屬ノ民政部長官ニ分掌セシムルコトヲ得

第三條 本邦以外ノ地ニ在ル艦隊又ハ警備府ノ司令長官(以下單ニ司令長官ト稱ス)ハ其ノ管理スル沒收品、戦利品及捕獲品ニシテ軍事上必要アリト認ムルモノヲ除クノ外之ヲ特殊財産資金特別

達

八七

0111



會計法第五條ノ規定ニ依リ特殊財産資金ニ組入ニ付海軍大臣ニ上申スベシ沒收又ハ捕獲セル船舶ニ付亦同シ

前項ノ上申ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 財産ノ種目、數量及價格
- 二 所在地
- 三 原所有者ノ國籍及氏名又ハ商號
- 四 用途
- 五 其ノ他必要ナル事項

第四條 司令長官其ノ押收セル敵産ニ付買入ヲ要スト認ムルトキハ之ヲ海軍大臣ニ上申スベシ

前項ノ上申ニハ前條第二項ノ事項ヲ記載スベシ

第五條 前二條ノ上申ニ對シ指令アリタルトキハ其ノ指令ノ限度ニ於テ組入又ハ買入ノ物件ハ之ヲ特殊財産ニ關スル事務ヲ管理スル民政總監若ハ海軍民政部長又ハ特設海軍經理部長（以下特殊財産管理官ト稱ス）ニ引繼グベシ

第六條 特殊財産管理官特殊財産ノ管理換ヲ受ケ又ハ管理換ヲ爲サントスルトキハ管理換ニ付現地

0112

當該機關ト協議ヲ遂ゲ之ヲ海軍大臣ニ上申スベシ

第三條第二項及前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七條 特殊財産ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ賣拂若ハ貸付ヲ爲シ又ハ出資ノ目的ト爲スコトヲ得

第八條 特殊財産管理官其ノ管理スル特殊財産ノ賣拂ヲ爲サントスルトキハ所屬長官ノ認可ヲ受ケ賣拂ノ契約ヲ締結シ當該契約書三通ヲ添ヘ之ヲ海軍大臣ニ報告シ賣拂財産ノ引渡ニ關スル指令ヲ俟ツベシ但シ急速ニ賣拂ヲ完了スル必要アルトキハ當該賣拂代金ヲ直ニ收納ノ上其ノ旨海軍大臣ニ報告スルト共ニ賣拂財産ノ引渡ヲ爲スベシ

前項ノ賣拂ニシテ一廉ノ賣拂價格五十萬圓ヲ超ユル不動産ニ付テハ海軍大臣ノ認可ヲ受クベシ

第九條 特殊財産管理官特殊財産ノ貸付ヲ爲サントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ所屬長官ノ認可ヲ受クベシ

- 一 第三條第二項第一號乃至第三號ニ掲グル事項
- 二 貸付ヲ受クル者
- 三 使用ノ目的
- 四 貸付期間

達

八九

0113

- 五 貸付料ヲ徴收スルトキハ貸付料算定調書及徴收ノ方法
- 六 貸付條件
- 七 其ノ他必要ナル事項
- 第十條 前條ノ規定ハ貸付ニ依ラスシテ特殊財産ノ使用ヲ爲サシムル場合ニ之ヲ準用ス
- 第十一條 特殊財産管理官特殊財産資金特別會計法第六條ノ規定ニ依リ特殊財産ヲ出資セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ所屬長官ノ認可ヲ受クベシ
  - 一 出資ノ目的タル特殊財産ノ種目、數量、價格及所在地
  - 二 出資價格
  - 三 出資ヲ受クル者ノ名稱及事業ノ種類
  - 四 事業ノ概要
  - 五 其ノ他必要ナル事項
- 第十二條 特殊財産ヲ出資シタル場合ニ於テ出資者トシテノ議決權ハ特殊財産管理官之ヲ行使スベシ但シ其ノ重要ナル事項ニ付テハ所屬長官ノ認可ヲ受クベシ
- 第十三條 司令長官前五條ノ認可ヲ爲シタルトキハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第十四條 特殊財産管理官特殊財産取扱令第三條第一項ノ規定ニ依リ特殊財産ヲ讓與セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ海軍大臣ノ認可ヲ受クベシ

一 特殊財産ノ種目、數量、價格及所在地

二 特殊財産ト爲シタル方法

三 讓與先

四 用途

五 讓與ヲ爲ス事由

六 其ノ他必要ナル事項

特殊財産管理官讓與ノ爲特殊財産ノ引渡ヲ爲シタルトキハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第十五條 特殊財産管理官ハ特殊財産整理簿ヲ備ヘ特殊財産ノ保管、運営及處分ニ關スル事項ヲ登記整理スベシ

第十六條 特殊財産ノ保管、運営及處分ニ關スル事項ヲ特殊財産整理簿ニ登記スルニハ別紙様式ニ依ル登記傳票ニ依ルベシ

前項ノ登記傳票ハ二通ヲ調製シ其ノ一通ヲ海軍省經理局長ニ送付スベシ

達

九一

0115

第十七條 特殊財産整理簿ニ登記スベキ價格ハ買入ニ係ルモノニ付テハ買入價格、組入ニ係ルモノニ付テハ評價額ニ依ルベシ

前項ノ評價及特殊財産資金特別會計規則第六條ノ規定ニ依ル特殊財産ノ價格改訂ノ要領ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十八條 特殊財産管理官特殊財産ヲ各部ニ供用スルトキハ所屬長官ノ認可ヲ受ケ供用スル特殊財産ノ目錄ト共ニ之ヲ供用ヲ受クル各部ノ長ニ引渡シ各部ノ長ハ其ノ受領書ヲ發スベシ

第十九條 特殊財産ノ供用ヲ受ケタル各部ノ長其ノ特殊財産ニ付異狀ヲ生ジ又生ズルノ虞アルトキハ之ヲ特殊財産管理官ニ通報スベシ

第二十條 特殊財産管理官天災其ノ他ノ事故ニ因リ其ノ管理スル特殊財産ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實ヲ詳具シ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第二十一條 特殊財産管理官特殊財産ノ賣拂、讓與若ハ貸付ヲ爲シ、特殊財産ヲ滅失シ又ハ特殊財産ノ保有價格ヲ改定シタルニ依リ價格ノ減損ヲ生ジタルトキハ特殊財産資金ノ支出官ニ之ヲ通知スベシ

第二十二條 特殊財産管理官ハ每會計年度間ニ於ケル特殊財産増減報告書及毎三年三月三十一日現

0116

在ニ於ケル特殊財産現況報告書ヲ調製シ之ヲ海軍省經理局長ニ送付スベシ

(別紙一葉添)

達第三十三號

雇員傭人被服規則左ノ通改正ス

昭和十九年二月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

雇員傭人被服規則

第一條 雇員、傭人ノ制服ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外本則ニ依ル

第二條 守衛長、守衛及艦船乗組中ノ傭人ハ服務中、通勤時又ハ儀式點檢等ニハ別表第一ニ依ル制服ヲ着用スベシ

守衛長及守衛以外ノ雇員、傭人ハ前項ノ場合別表第二ニ依ル制服ヲ着用スルコトヲ得

第三條 雇員、傭人ニハ作業上其ノ他必要ニ應ジ別表第三ニ依ル被服ヲ貸與スルコトヲ得

貸與範圍及定數ハ各廳長ノ定ムル所ニ依ル

第四條 前條ニ依リ貸與シタル被服ハ儀式點檢ノ場合ト雖モ其ノ情況ニ依リ各廳長ハ所屬長官ノ認

達

九三

0117

達

九四

可ヲ受ケ之ヲ着用セシムルコトヲ得

第五條 雇員、傭人作業服ヲ着用スル際ハ所屬長官ノ定ムル所ニ依リ等級識別章ヲ附スベシ

附則

當分ノ間從前ノ規定ニ依ル制服又ハ其ノ他ノ被服ヲ着用スルコトヲ得

(別表三、別圖添)

0118

(別紙)

(昭和十九年達第三十二號)

第 號

特殊財産登記傳票

種 目

管理官

財 産 區 分	種 類	數 量	價 格	所 在
沿革				
構 造	面 積	原 所 有 者		
		國 籍	氏 名	
備 考				
上記ノ通特殊財産整理簿ニ登記ヲ要ス			昭和	年 月 日登記

(用紙) 紙質適宜・寸法國定規格A5版

備 考

番號ハ管理官毎ニ一貫番號トスルノ外各欄ノ記載ニ付テハ特殊財産取扱規則甲號様式備考ヲ準用ス

0119



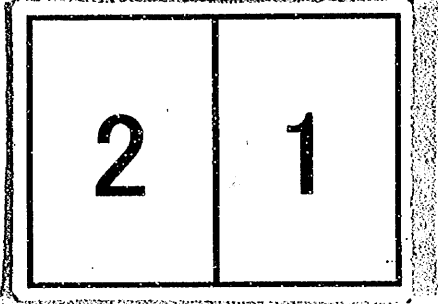
(別表第一)

(昭和十九年達第三十三號)

守衛長		守衛		區分		品名		地質及製式	
半靴	下士官兵用ニ準ズ	外套	常服ト同色ノ布製、折襟、胸二重、表隠左右各一個、形状ノ如シ	帽	常服ト同色ノ布製、戰鬥帽型、別圖ノ如キ織出帽前章ヲ附ス	肩章	常服ト同色ノ布製、形状寸法 圖ノ如シ	常服	國民服乙號但シ上衣ニ肩章座ヲ附ス形状 圖ノ如シ
肩章ニ櫻花ヲ附セザル外守衛長ニ同シ									

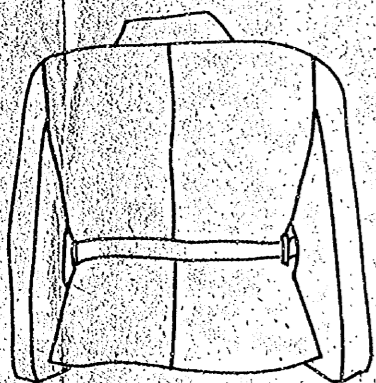
0120

## 分割撮影ターゲット

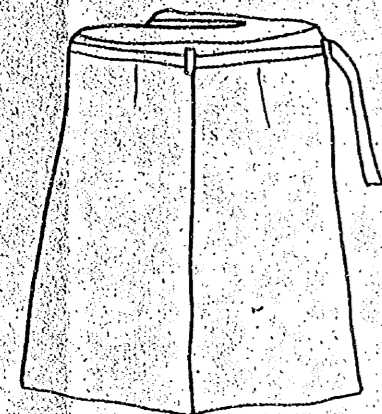
分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	雇員傭人服制図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

服 常  
人傭員婦子女  
(衣 上)

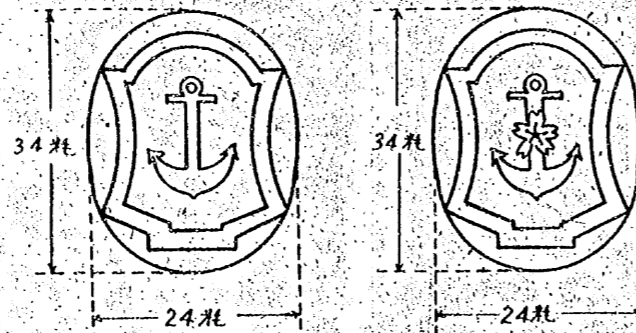
(厚生省指定標準服甲型二部式一號)



(袴)

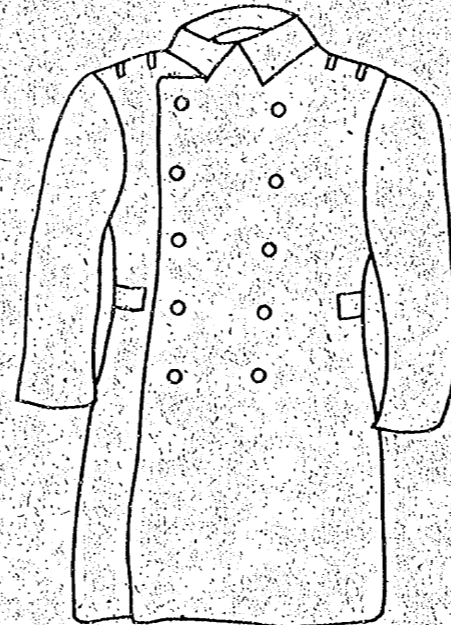


章 前 帽  
人 傭 員 雇



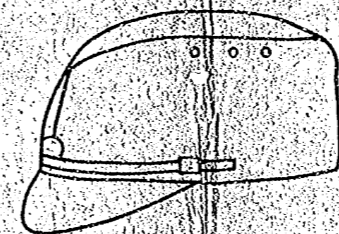
布青褐 地臺  
スト色白ハ花櫻シ但、色黄 地紋

套 外  
長 衛 守

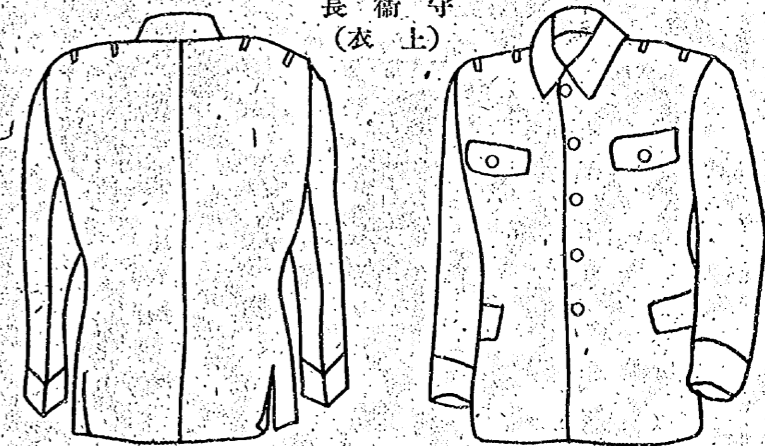


釧 褐青色又ハ黒四ツ目釧トス

長 衛 守

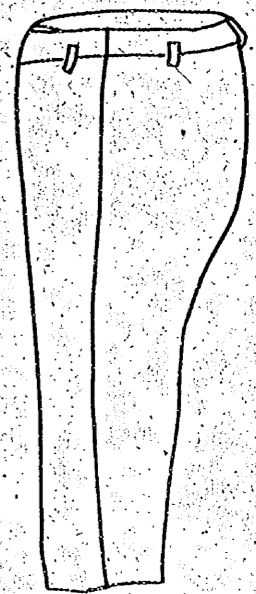
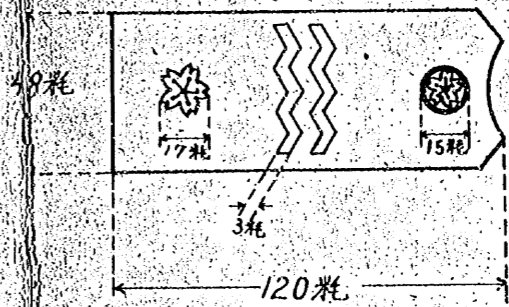


服 常  
長 衛 守  
(衣 上)



(袴)

章 肩  
長 衛 守

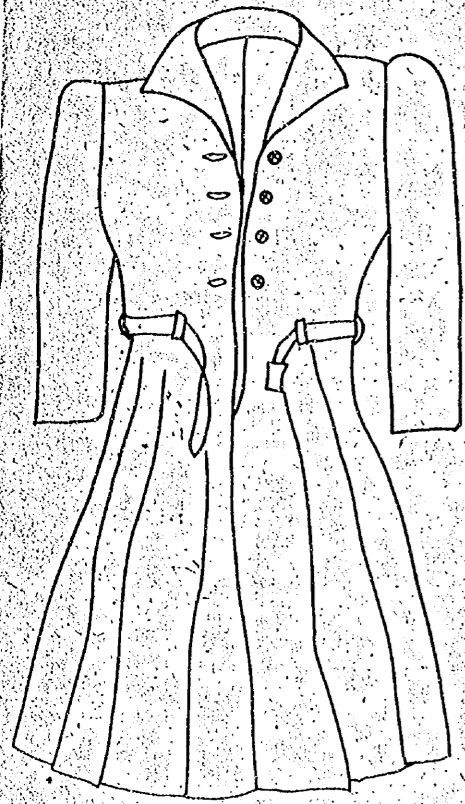


(別 圖)

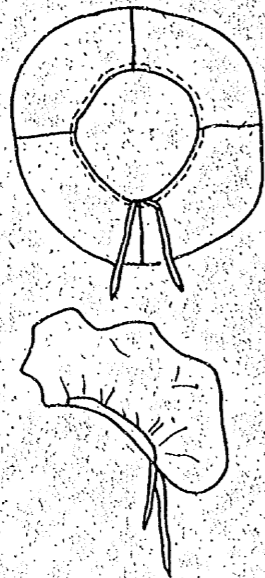
(昭和十九年達第三十三號)

0122 0121

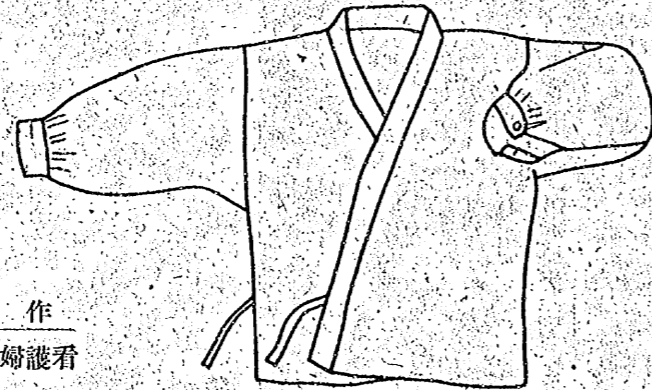
服業作  
婦護看



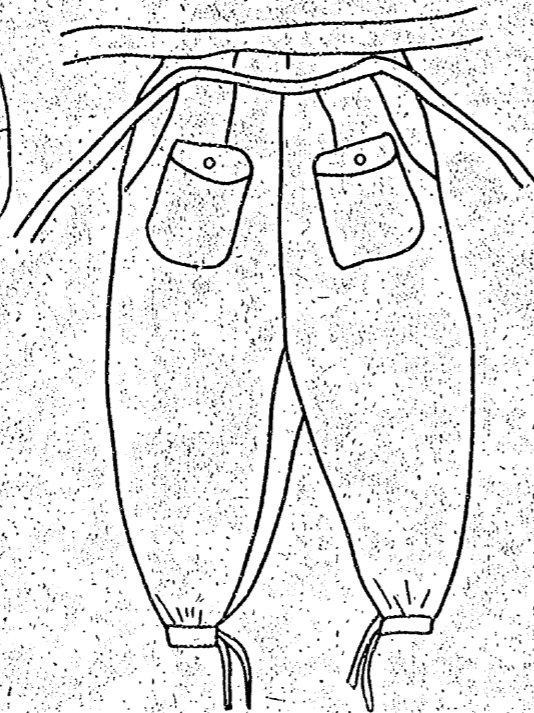
帽業作  
子女ノ他ノ共婦護看



服常  
人備員雇子女  
(衣上)

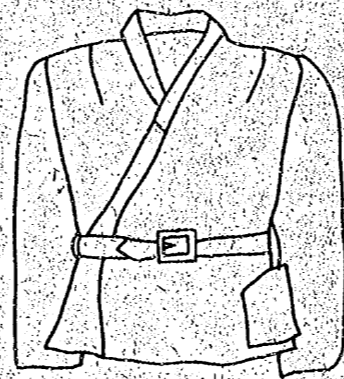


(袴)

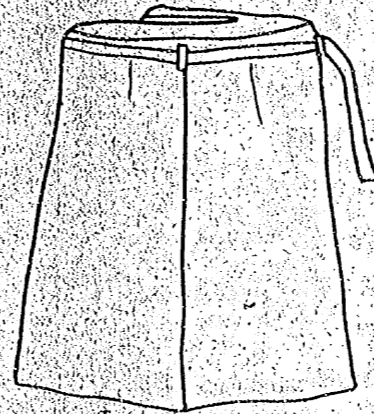
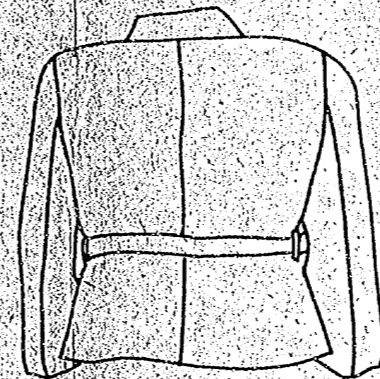
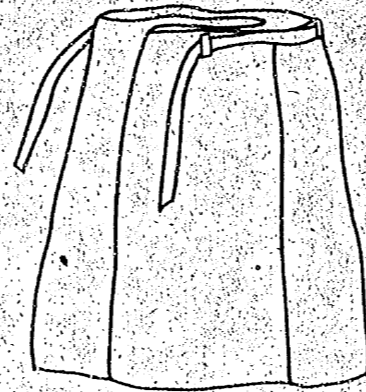


(厚生省指定標準服活動衣乙型)

服常  
人備員雇子女  
(衣上)



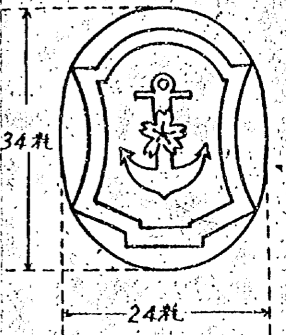
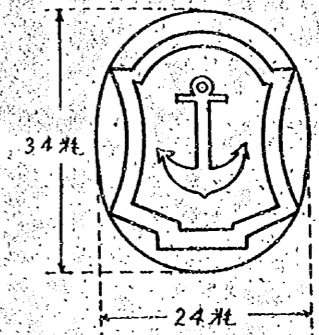
(袴)



(厚生省指定標準服甲型二部式一號)

章前帽

人備員雇



布青褐 地臺  
スト色白ハ花櫻シ但 色黄 地紋

(別表第二)

(昭和十九年達第三十三號)

區分		品名		地質及製式	
男子雇員(守衛長及守衛ヲ除ク) 備人	常服	帽	國民服乙號	守衛長ニ同ジ但シ備人ノ帽前章ハ別圖ノ如シ	
女子雇員、備人	半靴	常服	適宜ノモノトス		厚生省所定標準服甲型二部式一號又ハ活動衣乙型トス

0123

(別表第三)

(昭和十九年達第三十二番號)

雇員、傭人ニ貸與スル被服

品名	地質及製式
作業服(男子用)	下士官兵用作業服ニ準ズ
作業帽(男子用)	下士官兵用略帽ニ準ズ
作業服(看護婦用)	白色布製製式別圖ノ如シ
作業帽(看護婦用)	白色布製製式別圖ノ如シ
作業服(看護婦以外ノ女子用)	色相適宜ノ布製製式常服ニ同ジ
作業帽(看護婦以外ノ女子用)	色相適宜ノ布製製式看護婦用ニ同ジ
作業手袋	適宜
雨衣	
卷脚絆	
護謨底紺足袋	
毛布	
防暑服	下士官兵用ニ準ズ
蚊帳	
蒲團覆	
防寒服	
護謨長靴	

0124



達第三十四號

海軍共濟組合會計規程中左ノ通改正ス

昭和十九年二月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條 組合各部ハ其ノ收支ヲ明ニスベシ

第十二條 出納主任ハ毎月現金受拂計算書(第二號書式)甲及乙ヲ作成シ甲ハ廳長ヲ經テ之ヲ翌月五日迄ニ、乙ハ海軍會計監督規程ニ依ル監督ノ所掌區分ニ從ヒ海軍經理部長又ハ海軍省經理局長ヲ經テ之ヲ翌月中ニ海軍艦政本部長ニ送付スベシ

第十三條 出納主任前條ノ規定ニ依リ現金受拂計算書乙ヲ送付スル場合ハ之ニ證憑書類ヲ添付スベシ但シ其ノ證憑書類ハ海軍經理部長又ハ海軍省經理局長ノ検査終了後出納主任之ヲ保管スルモノトス

前項ノ證憑ノ調理様式ハ海軍省經理局長ノ定ムル所ニ依ル

第十七條 本部出納主任ハ左ノ帳簿ヲ備フベシ

一 現金出納簿(第三號書式)

達

九五

0125

- 二 収支明細簿（第四號書式）
  - 三 證券原簿
  - 四 證券内譯簿
  - 五 土地原簿
  - 六 營造物原簿
  - 七 貸付金原簿
  - 八 貸付金明細簿
  - 九 公傷病・私傷病・脱退年金發行原簿
  - 十 公傷病・私傷病・脱退年金給付明細簿
  - 十一 收支集計簿
  - 十二 備品原簿
  - 十三 消耗品受拂簿
- 第十八條 各應出納主任ハ左ノ帳簿ヲ備フベシ
- 一 現金出納簿（第三號書式）

0126



二 收支明細簿（第四號書式）

三 備品原簿

四 消耗品受拂簿

第一號書式中「共濟部」ヲ「共濟部支出」ニ、「給料」ヲ「報酬給料」ニ改ム

第二號書式ヲ別紙ノ如ク改ム

様式第一號ヲ第三號書式トス

様式第二號ヲ第四號書式トシ同書式中「部」ヲ削ル

附 則

本達ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（様式一葉添）

（會計法規類集三卷一五二ノニ参照）

○正誤

昭和十八年達第十二號機關附屬物標準別冊（甲）中三十四頁七行目「サイレン」ノ備考ニ「但シ同轉部、軸受裏金及パネノミトス」ヲ追加シ、同頁八行目「蒸氣弁柔軟板」ノ備考ヲ削除ス

達

九七

0127

第二號書式

(昭和十九年達第三十四號)

昭和 年度 何年 何月分  
海軍共濟組合現金受拂計算書

甲(乙)

受		拂		備考
摘 要	金 額	摘 要	金 額	
前月(前年度)越高	0 <sup>〃</sup>	共濟部支出	0 <sup>〃</sup>	
共濟部收入	0	公傷病一時金	0	
共濟部掛金	0	特症一時金	0	
利子	0	脱退一時金	0	
何々	0	公傷病遺族一時金	0	
艦本廻送金	0	私傷病遺族一時金	0	
健康保險部收入	0	艦本廻送金	0	
健康保險部掛金	0	健康保險部支出	0	
		職務上診療費	0	
		職務外傷病手當金	0	
		分娩費	0	
		翌月(翌年度)越高	0	
計	0	計	0	

昭和 年 月 日

何 應 出 納 主 任 何 某<sup>㊟</sup>

0128

達第三十五號

海軍各廳處務通則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條中「潜水隊、」ノ下ニ「海防隊、」ヲ、「潜水艦、」ノ下ニ「海防艦、」ヲ、「驅潜艇」ノ下

ニ「竝ニ輸送艦、敷設艇及哨戒艇」ヲ加フ

第三條及第三十七條第三項中「要港部司令官」ヲ「警備府司令長官」ニ改ム

(諸例則卷一、七〇七頁参照)

達

九九

0129

達第三十六號

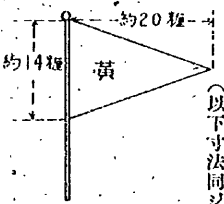
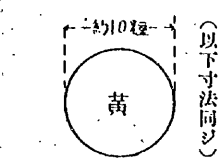
自動車搭乗者ノ標識ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十九年二月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍准士官以上及海軍高等文官自動車ニ搭乗スル場合其ノ官職ヲ表示スルノ要アルトキハ左ノ各號ニ依リ標識旗(標識鉞ヲ以テ代フルコトヲ得)ヲ附スルコトヲ得

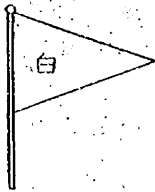
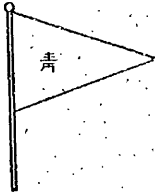
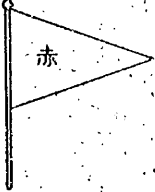
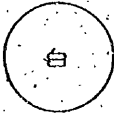


一種別

搭乗者	標識旗	標識鉞	記 事
將官			<p>海軍大臣、軍令部總長、司令長官又ハ司令官ハ夫々其ノ官職ニ應ジ縦約十四糎横約二十糎ノ海軍大臣旗型又ハ將旗型ノ標識鉞ヲ運轉臺前方稍子附近ニ表示スルコトヲ得</p> <p>右標識ハ標識旗(鉞)ト併用スルコトヲ得</p>

達

一〇一

0130

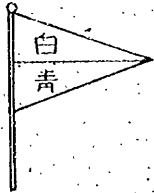
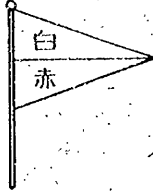
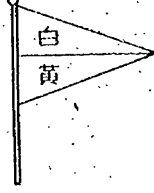



准 士 官	尉 官	佐 官
		
		

達

1011

0131

達

官	文	等	高
六等、七等、八等	三等、四等、五等	二等以上	
			
			

一〇三

0132

二 材 質

- (イ) 標識旗ハ布製、「フリキ」鋁製其ノ他材質適宜トシ旗竿ノ長サ及材質ハ適宜トス
- (ロ) 標識鋲ハ「フリキ」鋁製其ノ他材質適宜トス

三 表示位置

- (イ) 標識旗ハ自動車前部放熱器ノ上部附近トス
- (ロ) 標識鋲ハ自動車運轉臺前方稍子適宜ノ位置トス

0133

達第三十七號

海軍徵用事務規程中左ノ通改正ス

昭和十九年二月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四條 廳長被徵用者ヲ使用スル官衙、被徵用者ノ從事スル總動員業務、職業若ハ場所又ハ徵用ノ期間ニ付變更ヲ必要ト認ムルトキハ別紙様式第二號ノ徵用變更調書二通ヲ添ヘ徵用變更期日一月前迄ニ之ヲ海軍大臣ニ具申スベシ但シ國民徵用令ニ依ル被徵用者ニ付テハ徵用變更ニ依リ所屬スベキ官衙又ハ從事スベキ場所ガ従前ノ所屬官衙又ハ從事ノ場所ノ所在都道府縣以外ニ在ル場合及國民徵用令第十六條第三項ニ掲グル場合ヲ除クノ外各廳所在地ヲ管轄スル地方長官（以下所管地方長官ト稱ス）ニ別紙様式第二號ノ徵用變更調書一通ヲ添ヘ徵用變更期日一月前迄ニ其ノ變更ヲ請求スベシ

第五條 廳長被徵用者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアルトキハ別紙様式第三號ノ徵用解除調書二通ヲ添ヘ速ニ徵用解除ヲ海軍大臣ニ具申スベシ但シ國民徵用令ニ依ル被徵用者ニ付テハ懲罰ニ處セラレ共ノ情狀重キトキ、海軍文官ニ任用セラレタルトキ及判任官待遇者以上ノ徵用解除ノ

達

0134



- トキ並ニ國民徵用令第十六條第三項ニ掲グル場合ヲ除クノ外別紙様式第三號ノ徵用解除調書一通ヲ添ヘ速ニ徵用解除ヲ所管地方長官ニ請求スベシ
- 一 海陸軍ニ徵集若ハ召集(教育召集ヲ除ク)セラレ又ハ志願ニ依リ海陸軍ノ現役ニ服セシメラレタルトキ
  - 二 海陸軍學生生徒(海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム)ニ採用セラレタルトキ
  - 三 死亡シタルトキ
  - 四 徵用ノ期間満了シタルトキ
  - 五 被徵用者タル雇員又ハ傭人ヲ使用セザル應ニ於テ雇員又ハ傭人ニ身分變更セラレタルトキ
  - 六 被徵用者ヲ使用セザル他ノ應ニ轉雇又ハ轉用セラレタルトキ
  - 七 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
  - 八 總動員業務ニ従事セシムル必要ナキニ至リタルトキ
  - 九 傷痍疾病又ハ老衰ニ因リ就業ニ適セザルトキ
  - 十 不健康ニシテ公衆ノ衛生ニ害アルトキ
  - 十一 技能著シク低劣ニシテ上達ノ見込ナキトキ

0135

十二 本人又ハ其ノ家族ヨリ徵用解除ヲ願出デ事情己ムヲ得ザルトキ

十三 其ノ他ノ事由ニ依リ總動員業務ニ従事セシムルニ適セザルトキ

第六條及第七條ヲ削リ第八條ヲ第六條トス

第九條中「、第六條若ハ第七條ノ具中又ハ第五條若ハ」ヲ「若ハ第五條ノ具中又ハ」ニ、「海軍建

築部」ヲ「海軍施設部」ニ改メ海軍施設部ノ項ノ次ニ

ヲ加ヘ同條ヲ第七條トス

第十條中「、第六條若ハ第七條ノ具中又ハ第五條若ハ第八條」ヲ「若ハ第五條ノ具中又ハ第六條」

ニ改メ同條ヲ第八條トス

第十一條中「海軍航空本部」ヲ「海軍施設本部」ニ改メ同條ヲ第九條トス

(諸例則卷四、三六〇ノ一四ノ七頁参照)

海軍病院  
海軍省醫務局

達

一〇七

0136

達第三十八號

艦營需品定額表中左ノ通改正ス

昭和十九年二月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

機關長主管

區別	類別	番號	供給區分	品名	數稱	摘要	記事
追加	備品	一一二		寒暖計	個	凝固點測定器用	新規設定
改正	消耗品	八二六		糊	個	中袋修理用二十五瓦入	數稱及摘要改正
同	同	一三八		生石灰	瓦	一般用	摘要改正

○正 誤

昭和十八年達第二百四十號艦營需品定額表改正ノ件中機關長主管雜管掃除矢柄供給區分欄「初」ハ

達

一〇九

0137

達第三十九號

獨國ヨリ讓渡ヲ受ケタル潜水艦一隻ニ左ノ通命名ス

昭和十九年二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

呂號第五百一潜水艦

達第四十號

防空法施行令ニ基キ防空計畫ノ設定上基準ト爲ルベキ事項及防空ノ實施ニ付必要ナル事項ヲ地方官應ニ提示又ハ請求スル場合ノ手續ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十九年二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一條 防空法施行令第一條ノ四ノ規定ニ基キ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官防空計畫ノ設定上基準ト爲ルベキ事項ヲ地方官應ニ提示セントスル場合ニ於テハ豫メ海軍大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二條 防空法施行令第十六條ノ二第二項又ハ第三項ノ規定ニ基キ鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ特定ノ艦隊司令長官若ハ其ノ指定スル指揮官防空ノ實施ニ付必要ナル事項ヲ地方官應ニ請

達

一一一

0138

求セントスル場合ニ於テ其ノ事項ガ國家ノ重要ナル計畫及政策ニ影響ヲ及ボスベキモノ又ハ各省トシテノ豫算及資材計畫ヲ必要トスルモノ等ニ付テハ豫メ海軍大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三條 前條ニ規定スルモノヲ除クノ外鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ特定ノ艦隊司令長官若ハ其ノ指定スル指揮官防空ノ實施ニ付必要ナル事項ヲ地方官廳ニ請求シタル場合ニ於テハ速ニ其ノ旨海軍大臣ニ報告スベシ

達第四十一號

昭和十七年達第二百九十六號表中横須賀海軍經理部霞ヶ浦支部ノ項各部ノ欄「香取海軍航空隊」ノ下ニ「、神ノ池海軍航空隊」ヲ加フ

昭和十九年二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(参照) 前記達號ハ横須賀海軍經理部支部ノ分掌スル所在地各部指定ノ件ナリ(海軍諸例則一卷二二ノ二頁)(海軍會計法規類集一卷六〇ノ二頁)

0139

達第四十二號

海軍各廳處務通則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十四條第二類ノ部中「豫算、決算其ノ他金錢會計及」ヲ削リ同條第三類ノ部ヲ左ノ如ク改ム

第三類 十箇年保存

一、豫算、決算其ノ他金錢會計及物品會計ニ關スル帳簿及書類

第二十五條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第三類ノ帳簿及書類ハ當該會計年度ヲ以テ分界トシ各其ノ會計年度經過ノ月ヨリ起算スルモノトス

(諸例則卷一、七〇七頁參照)

達

一一三

0140

達第四十三號

海軍文官進級増俸取扱規則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條 高等文官同待遇者及別表第一號所屬ノ判任文官同待遇者ノ進級増俸ハ海軍大臣之ヲ行ヒ共  
ノ他ノ判任文官同待遇者ノ増俸ハ之ヲ所屬長官ニ委任ス

所屬長官増俸ヲ行ヒタルトギハ直ニ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第四條 第二項中「鎮守府司令長官」ヲ「所屬長官」ニ改ム

第五條第一項中「二月一日、八月一日」ヲ「一月二十日、七月二十日」ニ、「其ノ月ノ二十日」ヲ

「其ノ翌月ノ十日」ニ、同條第二項中「鎮守府司令長官」ヲ「所屬長官」ニ改ム

附則

本達ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

達第四十四號

海軍文官身上取扱規則中左ノ通改正ス

達

0141

昭和十九年二月十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十二條 海軍文官同待遇者ノ履歴書(第五様式)ハ正副二通トシ其ノ正本ハ高等文官同待遇者及海軍文官進級増俸取扱規則別表第一號ノ各廳所屬判任文官同待遇者ニ在リテハ海軍省人事局長、其ノ他ノ判任文官同待遇者ニ在リテハ所屬長官(海軍人事部長在ル所ニ在リテハ海軍人事部長トス以下同ジ)之ヲ保管シ副本ハ本人ノ所轄長之ヲ保管スルモノトス

第十三條 前條ノ規定ニ依ル所屬長官ハ所屬判任文官同待遇者ノ履歴簿及各廳別名簿ヲ整頓保管スベシ

第十四條中「前條ノ區分ニ從ヒ一通ハ海軍省人事局又ハ所屬鎮守府ノ海軍人事部」ヲ「第十二條ノ區分ニ從ヒ一通ハ海軍省人事局長又ハ履歴書保管ノ所屬長官」ニ改ム

第十五條中「第十三條ノ區分ニ從ヒ其ノ正本ヲ海軍省人事局又ハ新所屬鎮守府ノ海軍人事部」ヲ

「第十二條ノ區分ニ從ヒ其ノ正本ヲ海軍省人事局長又ハ履歴書ヲ保管スベキ新所屬長官」ニ改ム

第十七條中「發生シタルトキハ」ノ下ニ「第十二條ノ區分ニ從ヒ」ヲ加ヘ「所屬鎮守府ノ海軍人事部長」ヲ「履歴書保管ノ所屬長官」ニ改ム

0142



第十八條中「所屬鎮守府ノ海軍人事部長ニ通報」ヲ「履歷書保管ノ所屬長官ニ通報（報告）」ニ改ム  
第十八條ノ二第一項中「高等文官同待遇者及海軍文官進級増俸取扱規則別表第一號ノ各廳所屬判任  
文官同待遇者ニ在リテハ海軍省人事局長ニ、其ノ他ノ判任文官同待遇者ニ在リテハ所屬鎮守府ノ海  
軍人事部長ニ通報」ヲ「海軍省人事局長又ハ履歷書保管ノ所屬長官ニ通報（報告）」ニ改メ同條第二  
項中「海軍人事部長前項ノ通報」ヲ「所屬長官前項ノ通報（報告）」ニ改ム

第十八條ノ三第一項中「所屬鎮守府ノ海軍人事部長ニ通報」ヲ「履歷書保管ノ所屬長官ニ通報（報  
告）」ニ、同條第二項中「海軍人事部長前項ノ通報」ヲ「所屬長官前項ノ報告」ニ改ム

第二十一條中「第十三條」ヲ「第十二條」ニ、「所屬鎮守府ノ海軍人事部長ニ通報」ヲ「履歷書保管  
ノ所屬長官ニ通報（報告）」ニ改ム

第二十一條ノ二中「第十三條」ヲ「第十二條」ニ、「新所屬ノ海軍人事部長」ヲ「履歷書ヲ保管スベ  
キ新所屬長官」ニ改ム

附 則

本達ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

達

一一七

0143

達

達第四十五號

海軍考課表規則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四條表中期日、期限ノ項中「在籍鎮守府司令長官」ヲ「在籍鎮守府司令長官（文官ニ在リテハ履歷書保管ノ所屬長官）」ニ改メ文官同待遇者ノ項中

二月一日 <small>（前年七月考課表ヲ調製セザリシ者ニ限ル）</small>	二月十日	二月末日 <small>（履歷書ヲ鎮守府ニ保管スル者）</small>	二月末日 <small>（上記以外ノ者）</small>
七月十日	七月二十日	八月十日	八月十日

一月十日 <small>（前年六月考課表ヲ調製セザリシ者ニ限ル）</small>	一月二十日	二月十日	二月二十日
六月二十日	七月一日	七月二十日	七月二十日

ニ改ム

附則

本達ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二一八

0144

達第四十六號

左ニ對スル臨時海軍規格ヲ別紙ノ通定ム

別紙ハ海軍艦政本部長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十九年二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

含蠟軸受木材

達第四十七號

臨時海軍規格中左ノ規格ヲ削ル

昭和十九年二月二十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

カババイタ

達

一一九

0145

達第四十八號

海軍兵備品會計規程中左ノ通改正ス

昭和十九年二月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中兵器、秘密圖書、秘密水路圖誌、軍事教育圖書、普通水路圖誌、艦營需品及燃料ノ項兵備品

取扱主任ノ欄中

「軍	海防艦	「軍	海防艦
一等驅逐艦	ヲ	一等驅逐艦	ヲ
「		「	
特務水艦		特務水艦	
輸送艦		輸送艦	
「		「	
改ム		改ム	

附則

本達ハ昭和十九年二月一日ヨリ之ヲ適用ス

達第四十九號

海軍特務士官、准士官配屬命課規則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

達

二二二

0146

達

第三條 特務士官准士官ニシテ乘組又ハ附トシテ士官定員ノ位置ニ充ツルモノハ在籍鎮守府司令長官特ニ其ノ位置ヲ指定シ其ノ辭令(士官配置ト記ス)ヲ鎮守府公報ニ掲載スベシ

一三三

0147

達第五十號

大正十二年達第五十三號軍需支庫設置場所等ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保海軍軍需部ノ項中「大村」ヲ「長崎」ニ改メ「大島」ノ下ニ「那覇」ヲ加フ

(諸例則卷一、三三〇ノ一頁参照)

達

一三三

0148

達第五十一號

昭和十八年度ニ於テ建造ニ着手ノ掃海艇一隻ニ左ノ通命名ス

昭和十九年二月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

株式會社播磨造船所ニ於テ建造

第三十九號掃海艇

達

一二五

0149

達第五十一號 (後送ス)

達第五十二號

海軍各廳處務通則中左ノ通改正ス、

昭和十九年二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第七條第一項中「軍法會議ノ訴訟記録ニ編綴ノ文書用紙ニ限リ半紙版罫紙」ヲ削リ「及印刷文書」ヲ「印刷文書及軍法會議ノ訴訟記録ニ編綴ノ文書」ニ改ム

(諸例則卷一、七〇七頁參照)

達第五十三號

軍屬船員身上取扱要領細則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

達

一三七

0150



達

第四條第一項第五號ニ左ノ但書ヲ加フ  
但シ戸籍記載事項證明書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

二二八

0151

達第五十四號

感狀保管規則中左ノ通改正ス

昭和十九年二月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條但書中「死亡シタルトキハ」ノ下ニ「機密ニ屬スルモノハ海軍省副官ニ於テ之ヲ保管シ機密

ニ屬セザルモノハ」ヲ加フ

第五條中「海軍參考館ニ於テ」ヲ「海軍省副官」ニ改ム

第六條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ機密ニ屬スルモノニ付テハ所屬長官ノ認許ヲ受クルヲ要ス

第七條中「海軍參考館ニ於テ」ヲ「海軍省副官之ヲ」ニ改ム

(参照) 諸例則卷三、四八〇ノ一頁

達

一二九 (三頁)

0152